

月、大抵寄宿制度なり。私立なれど、國家の補助を受く。教師は小學教員上り、又は、大學の神學部卒業生を用ふ。

第十一、獨逸の國民高等學校は、丁抹と其目的を異にし、一は勞働者に智識を普及せしむること、二は一般民衆に智識を普及せしむるを目的とす。結局専門學の通俗講習なり。重に各大學其他に於て、多くは大學教授等に依り行はる。

第十二、大學擴張運動は、大學教育を一般世人に擴充せんとするものなり。此運動は英國を基とし、大學所在地以外に、高等教育を受けんと希望するもの多きに起因す。各地に於て、大學教授を聘し、専門的學科の短期講習を爲すを通例とす。此運動は從來米國に輸入せられ、圖書館發起者となり之を實施せり。

第十三、大學擴張の内容は、大學に入學し得ざるもの、爲めに、各種階級に亘り、大學の課程を平易に講習するにあり。聽講者の便を圖り、夕刻より夜に掛け開かる、者多く、其題目は自然科學・歴史・經濟・美術等なり。短期の者は、毎科一時間宛、

十二時間、長期の者は、三十二三時間に上るものあり。希望の者には、試験を行ひ、成績佳良の者には、修了證書を與へ、或る種の資格認定權のあるあり。

第十四、大學擴張は、講義に依る外、巡回圖書館・通信教授に據るものあり。巡回圖書館は、多くは其土地に於て講義を開く前に、豫め是に依り參考學習を爲さしめんとするにあり。通信教授は、吾國に見る今日の講義録なり。

第十五、少年義勇團は、英國に起りしものにして、其由來は南阿戰爭の際、英領「マフエキング」市が、ボア軍の重圍に陥り、痛く兵員の不足を感ぜし時、市中の少年を集め之を勵まし、之を訓練し、制服を與へ、或は傳令に、警備に、從卒に使役せり。其結果良好なりしが、少年義勇團の鑑範なり。

第十六、其後「パウエル」氏は、其居住地「サーレー」に於て、若干の少年を集め、之に制服を與へ、多少の訓練を施し、或は之を山野に伴ひ、林中の獵法を示し、又は野禽の鑑別を教へ、斯くて自然に接することを獎勵せり。是れ少年義勇團が、軍

事的意義を脱し、教育的性質のものとなりし證左なり。

第十七、少年義勇團の目的は、國家の興隆を圖る爲めに、少年の士氣を鼓舞し、品性を陶冶するにあり。其組織は諸國に於て異なるも、多くは十歳より十八歳迄の少年を團員とし、六人乃至八人を以て一組を造り、組長を置き、更に三組以上を以て一小隊とし、之に隊長を置く。此隊長となるものは、通例學校教師・在郷軍人・地方在住の有志家等なり。

第十八、少隊を合せて村團、村團を合せて郡團、郡團を合せて府團・縣團を作れるもあり。

第十九、本營は、空納屋・空小屋又は學校の教室を借り之に充つ。兵營の如く規則づくめの場所にあらずして、住心地よき俱樂部的のものなり。其根本條規として、

(一)神と王とを敬すること、(二)他人を助くること、(三)團則を守ること、其綱領としては、(一)團員の名譽を重んずること、(二)王及び王の官吏に忠信なること、

(三)有爲にして他人を助くること、(四)總ての人に對し、朋友又は團員相互は兄弟たること、(五)禮儀を重んずること、(六)動物を愛護すること、(七)命令に服従すること、(八)快活なること、(九)儉素なること、(十)思想・言語・行爲に於て純潔なること等なり。

第二十、團員は日々に何等かの善行を爲すこと、例令ば忙はしき家婦に代り子守を爲し、貧しき隣人の爲めに薪を割り、老ひたる婦人に代り水瓶を運ぶ等の如し。而して常に古武士的精神を涵養し、忍耐・克己・規律等の、習慣を養ふ爲めに、兵式教練及野外行軍を營ましめ、野營・強行・舉登・跋渉を獎勵せり。

第二十一、競技としては、斥候偵察を重んじ、武術としては、柔道・劍道を教へ、其他冷水浴・深呼吸を行はしめ、愛國心の養成としては、國旗を尊敬し、國歌を歌はしめ、他人の難儀を救ふ機會を見出さしめ、此外信號・護身・架橋・作筏の法を授け、酒煙草を禁じ、攝生を守らしめたり。

第二十二、少年義勇團の效果は、一二に止まらず。例令ば名譽を重んじ、任・俠を尊び、老幼婦女を救助し、公共の事業に貢献し、身體の健康を増進し、感覺を練り、品性を練磨する等、枚擧するに遑あらず。

第二十三、青年團は、青年の修養訓練を企圖するものにして、青年會及青年團あり。獨逸に於て最盛なり。青年會の最初の者は、瑞西國「バーゼル」市に設立せられたるものにして。其動機は、基督教信仰を養ひ、軍國的精神の扶植にありき。十九世紀に至り、獨逸に起り大仕掛のものと爲れり。

第二十四、青年會及青年團の中には、其目的種々ありて、(一)體育を目的とするもの、(二)職業を主とするもの、(三)信仰を目的とするもの等はなり。近來著るしく勃興せしは護國の目的に出づる、青年教養團の施設なりとす。

第二十五、青年獨逸組合は、獨逸の各地に存在する諸種の會を總合して、一大青年國民團を作らんとするものなり。其目的は單なる軍隊的教養の會にあらずして、反對

と一般修養を圖らんとする組合なり。是近時國民體格上の低下と惡文學・哲學等の影響に依る、精神氣魄の軟弱を矯正せん目的に出づるものとす。

第三章 孱弱兒童に對する施設

第一、林間學校

(一)一九〇四年、獨逸國「シヤロットンブルグ」市に設けられたるを嚆矢とす。小學兒童中、虛弱者を收容し、身體を攝養せしむるを目的とす。蓋し傍少許の學習を課す。

(二)其起因に内外二つあり、内的原因は、在來行はれたりし屋外教授又は露天學校の發達影響にして、外的原因は、學校衛生の發達と、兒童療養に關する思想の影響なり。

(三)收容兒童は、貧血質の兒童、腺病の兒童、心臟薄弱兒、呼吸器薄弱兒等にし

て「リオン」の林間學校等の如く、結核性のものゝみを收容せる所もあり。是等の兒童に對しては、滋養ある食物を與へ、新鮮なる空氣を呼吸せしめ、日光に浴せしめ、運動及び養護に力む。朝早く昇校し、夕刻歸宅する通學制度に依る。大抵春秋の氣候良き時を撰ぶ。

(四)教授は所により一定せざれど、「シャロットンブルグ」の如きは、下級は一日に二時間、上級は二時間半、乃至三時間なり。又「ミュルハーウゼン」の如きは、二時間と定められたり。但し時限は二十五分、其間に五分宛の小休憩と、十分の大休憩とを交代に置く。中にも「ドルトンモント」の如きは、一週三年級は二十八時間半、四年級は三十時間半、五年と六年とは三十二時間半を課せり。授業は概して午前中なり。

(五)授業は雨天にあらざる限り、林間にて之を行ひ、博物・體操・唱歌等は、室外にて行ひ、國語・算術の如きは、室内にて行ふ。生徒收容の方法は、春の頃小學校に於て校醫と教師と相談して、兒童の候補者を選定し、之を學務課に報告し、校醫の檢診を経て決定せられ、資用は大部分自治團體より出で、資力に應じて多少父兄よりも徴集す。

(六)林間學校の効果としては、前記の諸病輕快となり、體重増加し、身體の抵抗力を増す。學業・操行方面に於ては、話方成績向上し、觀察力鋭敏となり、仕事を好む習慣を養ひ、地理・博物の如き直觀科及國語の如き成績良好なり。其他記憶力も増進するを見る。

第二、露天學校

(一)獨逸の林間學校に倣ひ、英米に於て孱弱兒童の爲めに設けられたるものにして、倫敦の「ポスタルウッド」公園に開設せられたるを嚆矢とす。此學校は、森の中程に直徑凡そ七十ヤードばかりの空地を拵へ、其所に腰掛を置き教場とし晴天の日此所にて教授す。其傍らに雨天の爲めの屋舎を設け、雨天の日の授業及食

堂の用に供せらる。

(二) 收容兒童は、身體虛弱の者、倫敦市中五十七の小學校より百人を精選して入學せしめ、期間は十三週、課業は午前九時より午後六時迄、其中三時間と四十五分は學習、他は食事・睡眠・競技・遊戯・逍遙等なり。睡眠は午後一時より三時迄、又天幕をも備へて、可成戶外生活を爲さしむ。

(三) 職員としては、女校長、男教員二人、女教員一人、外に嫁姆・監視人・小使等なり。中にも教師は篤志家を以て之に充て、兒童は閉校後學校に復歸す。其費用は三分の二を市より、三分の一を篤志家の寄附及び父兄の負擔とす。

(四) 成績は良好にして、就中體重の如きは、平均六ポンド半の増加を示し、元氣を増し、視力加はり、筋肉神經の活動活潑となり、智識技藝の如きも、以前に比して向上す。

(五) 此學校は、獨逸國より米國に傳はり、「プロビデンス」「ボストン」等に、戶外生

活學校てふ名稱の下に施設され、「シカゴ」其他の天幕學校も、是に倣ひしものなり。

第三、戶外生活學校

(一) 米國の戶外生活は、純露天の下にて學習せしむるにあらずして、屋内露天學校と稱すべきものに變化せり。「プロビデンス」の學校は、新に校舎を造らずして、或る學校の二階を借り、兒童背部の壁を全部破壊し、之を一面の窓とし、(天井より床迄)天氣の日には全部明け放ちて、新鮮なる空氣と、光線とを遺憾なく入れ、學習せしむ。收容兒童は、多くは結核性の者にして、冬期はストーブを焚き、外套を着せ、毛布を卷かせ、湯タンポを入る。

(二) 日課は午前九時に登校、十時半に一度休憩し、温きソップを飲ましめ、十二時に晝食、二時半に終業、學科は一般の小學校と異なる所なく、輕體操及び呼吸法を行はしめ、春期には、學校園に於て園藝を爲さしむ。入費は全部市の學務課よ

り出し唯、食費及び養護に關する費用を、結核豫防組合より出せり。

(三)「ボストン」の戶外生活學校は、建物の廂に露天教室を造り、四方に天幕を張り、雨降りには之を下す仕組なり。中には食堂・仕度部屋・休憩室等あり。各兒童には、寢椅子・毛布・上靴・外套・腰掛・布團・ハンチング・楊子等を給與し、朝八時半登校朝飯を食し、後課業始まり、二十分限に、其間に休憩時間を置く。斯くて十二時半に晝食、食後一時間休憩、一時半より四時半、迄再び課業に従事し、晩食を済して五時に退散せしむ。

第四、天幕學校

(一)米國に於ける天幕學校は、一九〇八年「ボストン」市の結核豫防・救治組合の手に依りて試みられたるを嚆矢とす。設備としては、大なる天幕を張り、之を教室となし、此外に庖厨用の幄舎・化粧部屋・食堂・雨天使用教場等あり。收容兒童は、結核性の兒童のみにして、嚴密なる課業を課せず、園藝・家事の手傳、遊戲

等を爲さしむ。

第五、船上學校

(一)是「ニューヨーク」に於て始めて試みられたる者にして、其起原は、元兒童の療養船にあり。療養船は、結核性其他の兒童を收容して、是に療養生活を爲さしむる病院船にして、治療室を始めとし、牛乳室・料理室の設けありて、看護婦及醫師等を附せり。是等の兒童唯遊び暮すは遺憾なりとして、教師の派遣を教育局に希ひ、容れられて此病院船を「ニューヨーク」市公學校の附屬校と爲せり。是船上學校の由來なり。

第六、休暇殖民

(一)是孱弱兒の慰安旅行にして、三種に區別せらる。(一)は腺病質を兒童を海濱又は溫泉場等に收容して、病院を設けて療養せしむるもの、(二)半殖民と稱せらるるものにして、郊外に一定の場所を設け、兒童に善良なる牛乳を與へ、新鮮なる

空気を呼吸せしめ、一日乃至半日を費さしむるもの、(二)是は數週に亘りて、兒童を閑靜なる山間田園又は海濱等に、引卒して、保養せしむるものにして、收容兒童は、貧血性・營養不良兒等なり。

(二)休日殖民の由來は、丁抹の視學が、若干の貧兒を休養せしむる目的を以て、自己の家族と共に、田園に轉地保養せしめしを始めとす。最も完全したる形式を以て試みられしは、瑞西國「チューリッヒ」の牧師ビヨンが、一八七六年の夏、孱弱兒童六十八名を教師と共に家族的組織の下に、アルプス山下「アツペンツェル」の林谷に、移住せしめしに始まる。其結果良好なりしを以て、漸次瑞國に普及せり。

(三)殖民期間は、一定せざれど、短きは三四週間、長きは二三個月にして、兒童の年齢は、大抵七八歳以上、十四歳位迄の者とし、小學教師を通じて申込み、(一)身體の狀況(二)家庭の狀況とを標準とし、選定せらる。但し現に疾病に罹れるものは引卒することなし。

(四)移住地は、空氣清新、閑靜にして風土宜しく、善良なる食物を得べき土地なれば、山地・海邊何れを問はず、費用は有志家の寄附に仰ぐこと多く、移住地にては、散歩・遠足・遊戯・冷水摩擦・水浴・海水浴等なり。

(五)其効果としては、體重の増加、健康の増進元氣の旺盛等の好成绩を現はし、之に反對する人は、土地變換の健康上宜しからざること、及び贅澤の習慣の馴致等を指摘せるも兎角有益なる施設たるを失はず。

第四章 ゲーリーシステムの要點

第一、數年前より我國に喧傳せられたるゲーリーシステムの本質に就きては、之を教育上の新主義と見做すものと、之を學校系統上の新しき試みなりと解するものとの二様の異見あるも、是同一思想の兩面に過ぎず。

第二、ゲイリーシステムの教育思想の根底には、少くとも左の諸主義を包含せり。

- (一)被教育者の個性を助長發展せんとする、新個人主義の思想を包含すること。
- (二)職業的陶冶と一般陶冶との、程良き調和を圖らんとする思想を有すること。
- (三)勤勞作業主義の思想を内含すること。
- (四)科學的管理、即ち教育經濟の思想を包有すること。
- (五)分團的教育思想を有すること。

而して學校は、小學より専門學校の初歩程度迄を網羅せる一種特別の學校系統を成せり。故に之を以て教育上の新主義と見、或は之を以て學校系統上の新しき試みと見るも誤見にあらず。

第三、シカゴ大學の「ポビット」氏が之を目して、科學的管理法の根本と成せるに對し、渡邊政盛氏も之に賛意を表せられつゝあるが、「ポビット」氏は曰く、

「科學的管理法は、第一の原則として、土地を成るべく多く使用する。然るに此「シ

ステム」は、此趣旨に従ふ。第二に従業者を少くして、而も其効果を大にせんことを期するものなるが、此「システム」も亦然るを見る。第三の原則として、一切の徒勞を省かんとするに對し、此「システム」は生徒の力量に應じ、實効ある教育を施す。第四の原則として、原料を其性質に適功なるものに仕上ぐ。然るに

此「システム」は、生徒の個性に即して教育するものなり」云々

右の如く「ゲイリーシステム」は、最近の在らゆる教育新思潮を酌み、之を基礎とし、其上に考案せられたる一種の學校組織と見做すことを得。

第四、「ゲイリーシステム」は、之を直譯すれば、ゲイリー組織と稱すべきものにて、「ゲイリー」市の學校組織を其起原とす。「ゲイリー」市は、米國「インディアナ」州に在る小市街にして、此町は始め一の荒地に過ぎざりしが、一九〇六年製銅會社の建てらるゝに及び、人口頗る増加し、小都會を爲すに至りたり。従つて學校兒童の増加を來て、「ワート」氏を招聘して、其獨特の學校組織を施すに至りしを、「ゲイリー

「システム」と稱すに至りしなり。

第五、ゲリーリ學校の教育方針は、第一に生理的、第二に藝術的、第三に科學的に、全兒童を調和的に、圓滿に發達せしめんことを目的とす。此思想の根底には、近時の教育思想たる筋肉運動主義・創作作業主義・實際主義・科學主義等を包含せり。

第六、其教育法の要點を見るに、此學校にては、(一)遊戯(二)作業(三)學習の三者を要素とし、兒童の全人格を養成せんとするものにして、遊戯は身體方面の陶冶に資し、作業は藝術的・發表的衝動の満足に資し、學習は睿智の發展に資す。

第七、教科目は、正科として讀・書・算(以上一學年乃至三學年)他に四學年以上には、歴史・地理・科學(理科)を課し、特利科としては、音樂・文學・發表・體操を課し、此外に作業・遊戯を課す。但教科目及日課案は、舊式學校と、理想的學校との間に相違あり。

第八、學校組織の精神は、(一)個性尊重、(二)作業主義、(三)自學自習主義、(四)體

育尊重、(五)社會的教育、(六)設營の經濟的使用、(七)學校の社會的開放等なり。

就中(六)は此學校の特色を發揮せるものなり。

第九、日々の課業は、(一)研究室討究、(二)工場作業、(三)實驗室研究、(四)集會場に於ける應用、並に遊戯是なり。而して作業は主として工場に於て行はれ、他に集會場・運動場に於ても行はる。學習は重に研究室・實驗室及普通教室等に於て行はれ、遊戯は運動場に於て行はる。

第十、此式の學校は、一般に運動場に金を掛け、よく之を利用せり。「ワート」氏の理想は、運動場と公園とを接近せしめ、學校兒童及市民に之を開放して、體育の向上を圖らんとするにあり。「エマソン」學校運動場の如きは、十エーカーの學校敷地内に、ガーデン・テニスコート・蹴鞠場・徒歩競争線・ハンドギールマート等の設けありて、幼兒の爲に、徒渉泉水・砂場等を設け、冬期に於ける水滑りの設備及學校園・動物園等をも設けたり。

第十一、集會所即ち講堂は、生徒の會議所にして「ワート」氏に由れば、學校は兒童の支持する獨立團體社會なるを以て、其必要を充たす爲めの設營たり。而して此講堂は、又一の教室にして、毎日毎夜所定の時間内使用せらるゝこと、一般教室・研究室・實驗室等と何等異なる所なし。

第十二、講堂は、亦道德及宗教上の講義・説教・演説等の場所に充てられ、又は各部に於て創作したる演劇・對話其他發表の場所にも使用せらる。時としては、競技・體操・舞踏の爲めに使用せらるゝことあり。又必要に應じて、一般市民の爲めの音樂會・幻燈會・活動寫眞・學術上の講演等にも使用せらる。

第十三、「ワート」氏の考に據れば、教育能率を擧ぐる方法は、學校の諸設備を十分に遺憾なく使用せしむるにあり。換言すれば、一通りの設營を以て、二校分の兒童を收容し、二部教授的弊に陥ることなく、却て授業時間を延長し、効果を收め得る方法なり。之を實現せんには、諸種の設營を交互に組合せて、衝突なき日課案を作製

するにあり。

第十四、今日の學校は、生徒が自家専用の机腰掛を有し、教師も亦自己專屬の教室を有し、學校内に於ては、凡ての兒童教師が、同時に同一事を行はざる可からざる如く考ふるは、不經濟の極みなり。一般の學校に在りては、講堂の使用は平均一ヶ月十五分、運動場は平均一日一時間に過ぎず。手工場の如きは、殆んど空虚なる有様なるは、不經濟此上もなきことなりと言へり。

第十五、右の如き設營經濟の方針に基づき、時間割を作製せるを以て、ゲリーリ學校に於ては、八個の教室を以て、十六箇學級を教育し得る如くせり。即ち八個の學級が普通教室にて正科を受け居る時、他は或は地下室の工場又は屋上の體操場及運動場等にて、特別の活動を爲せり。但交代は半月毎とせり。

第十六、學校の管理は、各部に一人宛の主事ありて、専心之に従事し、主事は教授に關係せずして、主として課定表の制定、時間割の監督、秩序・訓練の支持、其他一

般の管理に従事し、別に教務主任ありて、教師を監督し、試験其他の事を掌り、一般教授には預からず。教授は他の學科擔任教師之に當れり。

第十七、擔任法は、小學校の一二學年を除くの外は、全部學科擔任制を採用せり。小中學を通じて、此法を採るを利益ありと考へたるに依る。又ゲーリッ學校には、分團編制行はれ、其分け方は、急進・普通・遲進の三分團なり。急進團は、十二ヶ年の課程を十ヶ年にて卒業せしめ、普通團は規定通り十二年、遲進團は、十四ヶ年にて卒業せしむ。

第十八、ゲーリッ學校は、公立學校にして、學習上其自由を拘束せず。恰も大學生の自由研究の如し。又其學校の種類は、幼稚園より中學校・專問學校の初年級に相當する程度の教育に預かる一種特殊の學校系統を有す。又特に注意すべきは、午後六時より九時迄、一般市民の爲めに、學校を開放し、民衆の啓發に従事することはなり。

文檢
受驗用
新教育說撮要 終

教職者及文檢受驗者必讀の良書

本書を精讀せられし人々は更に必ず此辭書を机上の便覽とせられよ。

◇甲斐一二氏新著◇ (東京神田 大同館藏版)

修身 主要學說辭典

四六判最上製美本
全壹册五百頁
正價 參圓六拾錢
送料 十八錢

(現今で最も安價にして
役立つ教育辭典)

研究學者が常に其座右に具へて所要學說の要點を敏速に把握せんとす
るに最も必要なる要素は精選せられたる主要題目を網羅し其趣旨を簡
明に説明せる價格低廉の小辭典たることは是なり。世の權威ある既刊の辭典亦鮮ならずと雖其編著或は浩
瀚に失し其内容亦詳細に過ぎ爲めに讀者の頭腦を攪亂せしむるものあり。又は辭典としての外形の美を目
的として必要以上に材料の多きを貪り爲めに價格の高上を來し個人的の購入を不可能ならしむるものあ
り。本辭典は著者が以上の缺點を補正せんとの目的の下に編纂せられしものにして材料の精選せられたる
と新題目の列舉に意を用ひたると價の低廉なるとは眞に其三大特色なりと謂ふべし。

大正拾五年 四月 十日印刷
大正拾五年 四月 十三日發行

文檢
受驗用 新教育說撮要

正價金貳圓

著作者 甲斐一二

東京市神田區表神保町七番地

發行者 阪本眞三

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷者 吉田松次

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷所 株式會社 秀英舍



發行所

東京市神田區表神保町七番地
振替貯金口座東京八七貳番

大同館書店

大 同 館 發 行 書 目 錄

| | | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|-------|
| 文學博士 宇野哲人著 | 文學博士 宇野哲人著 | 文學博士 宇野哲人著 | 文學博士 宇野哲人著 | 石川 誠著 | 教育學術會 | 教育學術會 | 高木 武者 |
| ■ 支那哲學史講話 | ■ 四書講義大學 | ■ 四書講義中庸 | ■ 漢文科研究者の爲に | ■ 語解義 | ■ 四書研究 | ■ 新撰漢文要義 | |
| 正價貳圓八拾錢 送料十八錢 | 正價貳圓八拾錢 送料十八錢 | 正價貳圓八拾錢 送料十八錢 | 正價金參圓 送料十八錢 | 正價貳圓八十錢 送料十八錢 | 正價金貳圓 送料十八錢 | 正價壹圓八拾錢 送料十八錢 | |

〔大同館發行圖書目錄〕

宇野 哲人著 支那哲學史講話 最上製 (參拾版) 金貳圓八拾錢 送料拾八錢

本書は上古より清末に至るまでの支那思想の概要を極めて平易に簡明に叙述して最もよく要説を盡くせるものなり。従て世に行はれたる支那哲學史の缺陥は本書に依て補正せられて亦遺憾なし初學者にも専門家にも座右に缺くべからざる絶好の新著なり。

宇野 哲人著 支那哲學の研究 最上製 (九版) 金貳圓八拾錢 送料拾八錢

本書は上は三代より下は近世に至り或は一代の思想を概論し或は特殊の問題を細叙し支那哲學に關する博士獨特の研究は殆んど此書に網羅せらる支那哲學史講話を讀んで略々大意に通ずるものは更に此書に就て斯學の堂奥に參せん。

紀平 正美著 自我論 最上製 (貳拾版) 金貳圓參拾錢 送料十八錢

本書自我論一編は全く自分の觀念論の上に立脚して組織したるものである。従て缺點も多からうと思ふが同時に又自分のものであるとの自信をも有つて居るのである。前編「自我の分析」に於ては出來得る限りの分析を試みた後編人格の價値に於ては人格の意義と價値とを論理的に定めんと企てた。

紀平 正美著 改訂人格の力 最上製 (八版) 金壹圓八拾錢 送料十八錢

本書は先に一度出版せられしものを「自我論」の出來たと同時に讀者の要求により著者が全部新しく改訂して發表せられしものである。「自我論」を讀まれし人も又これから入つて「自我論」を讀まれる人も必ず併讀せねばならぬ重要な姉妹篇である。

大關増次郎著 **カント哲學批判** 四六判 (五版) 正價金貳圓
送料十二錢

カントより新理想主義へ新理想主義からヘーゲルへの道を辿らうとする者は先づ近世哲學の權威フイツシャートのカント哲學批評を傾聴するの有意義たるは敢て賢言を要しないこれ眞摯なる士にすむる所以なり

大關増次郎著 **カント研究** 菊上判 (三版) 金七圓八拾錢
送料卅六錢

哲學研究者がカントへの隨一手引書。近代思想のことくが或はカントを批判し或はカントを祖述しないものは無いのであるから近代思想を極めるものは必ずカントまでさかのぼらなければならぬ本書はその手引書である。

稻毛 詛風著 **オイケンの哲學** 四六判 (十三版) 金壹圓六拾錢
送料十二錢

オイケンは現代思想界の明星也從つて苟くも思想界に關し精神事業に従事する者にして彼を知らぬ人は未だ到底哲學宗教道德教育文明歴史乃至生活を論ずる資格なし。現代生命に觸れ生きた甲斐ある生活を生きんとする者は本書を讀め。

野村 隈畔著 **ベルクソンと現代思潮** 四六判 (九版) 金貳圓五拾錢
送料十二錢

本書はベルクソンの思を中心として現代の哲學及生活の梗を述べたものであるだけに獨りベルクソン哲學の特色と價值とを學び得るのみならず弘く哲學的思想を解する上に於ても亦妙ながらざる價值がある。

吉田絃二郎著 **タゴールの哲學と文藝** 四六判 (十六版) 金貳圓五拾錢
送料十八錢

タゴールは所謂近代文明に中毒した歐洲人から清涼劑緩和劑として歡迎せられた。漸く物質文明の弊に苦しみ且つ自我の目覺めに悩みを懐いて來かゝつた吾々青年にはたしかに伸ひくした心地よい感じを與へて呉れる。

高橋 敬視著 **西洋哲學史講義** 菊上判 (新刊) 金參圓八拾錢
送料十八錢

哲學を知るにはどうしても哲學史を讀まなければならぬ。本書は古代哲學から最近のプラグマチズム、新實在論に至る迄を組織的に簡潔平明に初學の人にも容易に了解が出来る様に叙述したものである。

市川 一郎譯 **高尙なる理論を哲學概論** 菊上判 (新刊) 金四圓八十錢
送料一八錢

本書はフレッツァ博士の原書を譯補せるもので内容は用語の簡潔にして平明なるは勿論吾々各自が日常屢々遭遇する所の經驗を例證として講述せる初學者には最もよい入門書である。

石川 誠編 **現代文學新選** 四六判 (三版) 金四圓八拾錢
送料十八錢

本書は現文壇の中心作家菊地寛・芥川龍之助・島崎藤村・田山花袋・北原白秋・有島武郎等十八氏の代表的作品長短編約七拾篇を收めそれに頭註を施し各編毎に鑑賞的な著者獨特の批評を加へたるものである。

石川 誠編 **現代詩歌新選** 四六判 (新刊) 金貳圓八拾錢
送料十八錢

本書は現代詩歌を味はんとする者及一般文藝愛者の爲めに趣味的に研究的にその鑑賞手引として出來たもの代表的詞人七拾餘名の歌詞句から精選し脚註を加へし現代詩歌壇 金字塔である。

古屋 利之編 **現代田園文學新選** 四六判 (新刊) 金貳圓五十錢
送料十八錢

田園は人類の心臓であり太陽である。靡爛しきつた現代人の思想と生活に新しい血をそそぎ温い光を與るものは其處に育まれた田園文學を措いて他にないと思ふる本書はこの意味に於て現代人の渴望を極すに足る絶好の讀物であらう

小林 榮子著 **源氏物語活釋** 編前 四六判 (三版) 金四圓八十錢 送料十八錢

小林 榮子著 **源氏物語活釋** 編後 四六判 (三版) 金四圓八拾錢 送料十八錢

小林 榮子著 **頭註大鏡活釋** 四六判 (三版) 金貳圓五拾錢 送料十八錢

石川 誠著 **新撰徒然草講義** 四六判 (新刊) 金貳圓五拾錢 送料十八錢

尾上登良子著 **源氏物語大意** 註 四六判 (八版) 正價金參圓 送料十八錢

小林 好日著 **新體國語法精說** 菊上製 (三版) 金貳圓八拾錢 送料十八錢

吉波 彦著作 **漢文** 復文訓讀 支那時文 **研究要訣** 四六判 (三版) 正價金參圓 送料十八錢

植松 安著 **改訂古事記新釋** 四六判 (拾參版) 金貳圓五拾錢 送料十八錢

植松 安著 **紀記の歌の新釋** 四六判 (三版) 正價金貳圓 送料十八錢

古典の國民化これは私の大に望む所であつて先に「古事記新釋」を著けしたか今又こゝに紀の歌のみこ就いて書いて見むには便宜であると思ふ。

本書は大意とは云へ文情詞勢語氣なども原本の儘を傳へんと苦心したるものなりされば本書一巻の通讀は原本を讀むに異らざる効果あり巻頭に挿入したる系圖並に年表は本書の参考としては勿論其他一般の源氏物語を研究する人にも唯一の極めて有益のものである。文檢受験論文研究に於て國語問題に思を潜める者は必ず一通讀しなければならぬ。

本書は徒然草を三部に分ち前編には受験に尤も必要な又徒然草の本質を直ちに了解し得る段を収めて詳解したこれは受験必讀の篇であり本書の眼目である中篇後篇には受本位として繁簡中庸殘りの全部を収めて詳解したものである類書中の白眉の書としてすゝむ殊に文檢と高等學校入學準備としては最適の書である

四鏡中も最も重要な大鏡は藤原氏の榮華と時代相を描いた史的にも文學的にも貴重なる書である本書は著者が難解な文章を流通無礙の筆を以て何人にも了得し得る様活釋した所現代女流國文學者中の才人であると云はねはならぬ。

全編漢字をあて、講義に代へ頭註精を極め粹を華む。この書を讀む人は到底行はれざる源氏物語の全講を居ながら聽くと共に又中古國語辭典を座右に備ふるの効果を收め得べし如之本書の一大異彩として著者研鑽の餘一紫式部の源氏物語は雲隠までなり一との斷案を下したる事と紫式部日記録講義によりて「部が擾々たる公子貴女を靜觀せるさまの躍如たるを見るべし」本書は初めて古文に志す人にも直ちに堂奥の源氏物語を玩味する事を得べき國民必讀の良書也

文檢國語漢文科受験の秘鍵を握つて一躍難關通過の榮冠を獲んとするの諸彦は先づ本書を看よ。本書は著者が多年の經驗と豊富な材料とを以て新に受験者に提示せる他に絶對に類書のない要訣である。第一篇は白文訓讀を第二篇には復文作文を第三篇は支那時文を解釋したる國漢文受験者には最新の捷徑である。

難解なる古文を最も平易なる假名交り文に書き下し振假名を附し詳細なる語義と其索引を添ふ。著者か國民心理を基礎として神代と上古との風俗人情に下したる評論的文章は各段章に懸けられ大和民族發展の由來を明にし國民歸嚮の中心を開く是れ本書の特長なり世界の日本東洋の日本我等の日本これの書に得よ。

植松 安著 **紀記の歌の新釋** 四六判 (三版) 正價金貳圓 送料十八錢

植松 安著 **紀記の歌の新釋** 四六判 (三版) 正價金貳圓 送料十八錢

宇野 哲人著 **四書講義 大學** 最上製 (拾參版) 金貳圓參拾錢 送料十八錢

宇野 哲人著 **四書講義 中庸** 最上製 (拾四版) 金貳圓八拾錢 送料十八錢

龍澤 良芳著 文檢 受驗用 **左傳選釋** 最上製 (新刊) 金參圓八拾錢 送料十八錢

支那古典中最も難解を以て目せられる左傳は文檢受驗の際の必讀書である本書内容は讀方講義解釋參考の四冊に分ちて丁寧親切に叙述せる文檢受驗には本書一冊で他に必要なしと言ふまでにした他に絶対に類書の無い好参考書也。

教育學 術會 文檢 受驗用 **論語解義** 最上製 (四版) 金貳圓八拾錢 送料十八錢

本書内容は(一)解説(二)字句講義(三)思想研究の三篇に分ちて叙述し最後に論語思想を現代の思想の上から縦横に批評を試みた文檢修身・漢文教育科受驗者の是非熟讀すべき良書也。本書は實經驗に鑑み本文を特に白文とせり。

教育學 術會 文檢 受驗用 **四書研究** 最上製 (五版) 正價金貳圓 送料十二錢

本書は文檢受驗者の爲めに從來の四書研究を教はんとして著はされしものである四書の思想的研究は我國に於ても支那に於ても本書がその最初のものであれば從來の文學の上の研究に飽きて居る一般の人は本書に依て味ふがよい。

栗原寅次郎著 **大日本地理精説 上卷** 最上製 (八版) 金五圓八拾錢 送料廿七錢

栗原寅次郎著 **大日本地理精説 下卷** 最上製 (七版) 金五圓八拾錢 送料廿七錢

日本地理教授の目的は専ら本邦國勢の現狀を詳かにして愛國心に基づく有爲の國民的活動に導き事にある。本書は著者年來の經驗に則つて特に最新材料を蒐集選擇し帝國の國勢を形成せる自然並びに人文の兩方面に亘る各般の事情に就て懇切丁寧な叙述を加へられたる、眞に是れ斯界ノ權威たるべき良書である。本書の特色は材料の厳選と其の具體化・學習的興味・喚起・統計の正鴻と記述の懇切等である。

三村 信男著 **地理學習便覽** 最上製 (三版) 金壹圓貳拾錢 送料十二錢

世界的知識を得るには地理を修める必要があり世界的日本を知る爲には地理科は最も適せる教科である本書は此の意味に於て技業に亘るを避け稍學術的に一般地理學的現象を解説せるもので深き理法を解し研究の指針となる書也。

栗原寅治郎著 **大日本國勢地理** 最上製 (新刊) 金參圓八拾錢 送料十八錢

本書は我が國土の自然と人文に亘る各般の實情を精査探求し特に平易を旨として記述されたるものにして一般地理教授上の好参考書たるは勿論更に全國民の必讀すべき近來の快著である敢て世の愛國の士に薦む。

栗原寅治郎著 **郷土地理の研究** 最上製 (五版) 正價金貳圓 送料十八錢

郷土は世界の縮圖なりで窓外に一步を出ずれば四近の山嶽河川原野等探つて以て本科學習の基礎をなすべき好教材を網羅せるに於てをや本書は特に之が教授の方法を説示する等懇切丁寧を極む眞摯なる研究家必讀の書也。

中等學校教授用資料と檢定受験用とを兼備せる唯一の西洋史參考書

◇小林博氏新著 (多年苦心の大著完成發賣)

文部省檢定 西洋通史 受験用

東京 大田 發行
神田 同 館
田 行 發

菊判最上製美本 上卷 正價金六圓八拾錢 送料廿七錢
全二冊箱入千五百頁 (下卷) 正價金四圓八拾錢 送料十八錢

●●●(書讀必者驗受史洋西檢文)●●●

【特色の本】

(一) 教授用の便 文部省教授細目と撰作・村川・瀬川・大類・磯田・齋藤・清・峰岸・齋藤一の各博士教授の著せる中等學校西洋史教科書を參照し其項目の敷衍につとめ且説話筆記等の取扱にも苦心した。
(二) 受験の實經驗 文檢受験は著者の苦き實經驗に鑑み選擇配列に頗る苦心して表解圖點を施し極めて多き參考史話を載せ其の興味を以て讀者の倦怠を防ぎたり。故に本書は項目體にして見易く時間を省き腦裡に千萬の史實を牢記せしむるは信じて疑はず。
(三) 記事の詳密 著者は多年の西洋史研究と共に翻譯の事實を本書に發表しツタンカーメン王の事蹟よりドーヌ案日露交渉の最近に及び繁簡の要を得たれども尙記事頗る詳密にして多大の頁を費し從來の文檢問題の如きは自ら悉く織込まれたり。
(四) 文檢問題解答 本は卷末に索引を附して讀者研究の便を計り既往の文檢問題は四十一回迄列記し一々之に解答を附したり。

我が初等教育界への一大貢獻!!

◇東京女子師範學校 附屬小學校訓導 守屋貫秀・山口友吉・久米慧典共著◇

東京神田 (大同館) 發行

新刊發賣

少年國史辭典

四六判最上製美本 全壹冊四百餘頁 正價金貳圓 送料十二錢

少年少女のための國史辭典出來!! 自學自習隨一の指針

少年少女諸君が國史即ち祖國發展の事蹟を自ら學ぼうとするにはどうしても完備せる兒童用國史辭典が必要である。本書内容は五十音別にして國史教科書中の事實を大小漏なく解説せる外各教科に於ける史實を解りし尙御歴代表系圖・年表を附せる等眞に至れり盡せりの良書である。今や自學中心主義の教育は燎原の火の如く全國を靡靡し然も教育者の不備を等しく遺憾とせらるゝ時に際し我が勉學に熱誠なる少年少女諸君を初め各學校及一般圖書館の必備品たる本書を提供し得るは大に弊館の誇とする所である。

福田正夫著 ●童謠・民謠・詩傑選集 (拾版) 袖珍刊 金壹圓八拾錢 送料十二錢

井上康文著 ●少年の思想と生活 (新刊) 袖珍刊 金壹圓八拾錢 送料十二錢

前田徳一著 ●白ばら公子 (少年少女) (新刊) 四六判最上製 金壹圓八拾錢 送料十二錢

大久保 龍著 ●白ばら公子 (少年少女) (新刊) 四六判最上製 金壹圓八拾錢 送料十二錢

◇明治教育社編纂◇

發兌

東京市神田區
古神保町七

大同館書店

文檢 國民道德要領 (卅壹版)

四六判最上製美本
金貳圓五拾錢
送料十八錢

文檢 教育大意 (拾七版)

四六判最上製美本
金貳圓五拾錢
送料十八錢

本邦國民道德要領教育大意は姉妹篇で共に絶大の好評を博しつゝあり内容特色は合格者の経験を基礎として編纂したる事、そして受験者に都合よき様に記述したる外試験委員の説を随所に挙げたる事、問題解答を提げ類似問題を多く載せたる事、文章の平易なる事等にありされば文檢の受験者たるものは勿論各府縣の小學校教員檢定試験者にとりて無二の好参考書たる事は弊館の自信を以て推奨せざる可からざるなり。

教育學術會著 文檢 教育勅語成申解義 (拾版)

正價金貳圓
送料十二錢

石川 誠著 文檢 國語科研究者の爲に (拾貳版)

正價金貳圓
送料十八錢

石川 誠著 文檢 漢文科研究者の爲に (拾貳版)

正價金參圓
送料十八錢

伊東勇太郎著 文檢 英語科研究者の爲に (五版)

正價金貳圓
送料十八錢

教育學術會著 文檢 國民道德教育大意問題解答 (五版)

正價金壹圓八拾錢
送料十二錢

◇渡部政盛氏新著

(最新最詳の世界教育全史出來)

文檢 日本教育史

菊判最上製美本
全壹冊九百頁
正價金
六圓八拾錢
送料金廿七錢

本書は刊行教育史の一般的缺陷を補ひ併て文檢受験者の好伴侶たらしめん爲に著されたるものなり。特色とする所は(一)日本西洋教育史とも古代より現今(二十世紀)に至る迄の史實を全部網羅したる事(二)從來の教育史に無き支那以外(三)の亞細亞諸邦の教育及日本新領土植民地の教育を記述せる事(三)系統的にして簡單明瞭ならん事を努めたる事(四)從來問題として出でたる事項につきては特に詳細なる擬答的解説を試みたる事(五)練習問題を挿入したる事等なり故に教育史の研究は本書一冊にして十分なることは言ふ迄もなし

◇渡部政盛氏新著

菊判最上製美本箱入
紙數百餘頁全壹冊

金五圓八十錢

送料金
廿七錢

五集說 批判教育學概論

本書内容は(一)歴史(二)事實(三)現代思潮(四)目的々本質的(五)判に立脚して最良最善の教育原理を闡明し實際教育に對して最も根本的なる思想を提供したのである。教育一般を研究の對象として科學的立脚しながら哲學を忘れず教育の意義・教育學の概念を諸方面から縦横に考察論明した。系統的てふ形容の意味は本書に於てのみ味ふことが出來やうかと思ふ。今や改訂修正して益々研究の便宜を計れり。

東京市神田區
大同館發行

◇稻毛詛風氏新著◇

東京大同館藏版

新刊 教育哲學の研究

菊刊最上製本
全壹册四百頁
正價金
四圓五拾錢
送料十八錢

我學界に『教育哲學』の名を聞く事は可成に久しいにも係らず未だ眞に權威ある教育哲學書を見ないのは遺憾である。この際新學研究の唯一人者たる著者が本書を公にしたのは洵に時宜を得たものである。本書は一方内外の代表的教育哲學を忠實に紹介し嚴密に批判すると共に他方著者自身の教育哲學觀を系統的に叙述したものであるが、此一卷によつて教育哲學の一斑と著者の見解の眞髓とを理解する事が出来る教育と哲學との關係について疑惑を置く者哲學を教育上に活用せんとする者教育哲學を研究せんとする者乃至眞に有爲な教育者たらんとする者は必ず一本を繕いて此新學術の醍醐味を味はうべきである。

稻毛詛風著 ● 教育者のための哲學 (拾五版) 貳圓五拾錢 送料十八錢

稻毛詛風著 ● 増補 オイケンの哲學 (拾參版) 壹圓六拾錢 送料十二錢

稻毛詛風著 ● 哲學入門 (三版) 壹圓六拾錢 送料十二錢

稻毛詛風著 ● 現代教育の主潮 (最新刊) 貳圓八拾錢 送料十八錢

◇文學博士 吉田熊次序 市川一郎譯著 (現代教育者必讀の要書)

拾九版 教育の基礎たる哲學

四六判最上製本
全壹册四百頁
正價金
貳圓五拾錢
送料十二錢

哲學は難くして常人不理解的のものなりと思ふ人多きは從來公にせられたる哲學書の罪である本書は卑俗に流れざる程度に於て最も平明に最新の哲學を系統的に叙述せるもので之れを繕かば哲學的素養の皆無なる人士と雖も易々として現代哲學の概觀を捕捉し健全なる哲學的人生觀教育觀を樹立し得べく以て從來と全く異りたる意義あり價值ある新生命を開拓し得んこと疑なし。

◇市川一郎氏譯著◇ (文部省は勅令を以て社會教育課を新設す)

三版 教育の基礎たる社會學

四六判最上製本
全壹册四百頁
正價金
貳圓
送料十二錢

本書は米國碩學の近著に係る應用社會學の一なる教育的社會學に據て社會學の主要なる原理と此原理に立脚する教育の社會學的解釋とを講述せるものである。過去の因襲教育が心理學に依て改造せられたるが如く、行き詰れる現代の教育は是非共社會學に依て改造されなければならぬ。實に本書の説く廣大にして根本的なる教育説は狹隘なる天地に躡跼せる今日の教育を廣潤清朗なる曠野に誘導するものである愛國の士の必讀を要請す。

發兌 東京市神田區 大同館書店

◇渡部政盛氏監修・教育學術會編纂◇

文檢 心理學講義 (最新刊) 菊判上製七百頁 金四圓八拾錢 送料廿七錢

文檢 論理學講義 (最新刊) 菊判上製四百頁 金參圓八拾錢 送料十八錢

文檢 教育學講義 (第貳版) 菊判五百餘頁 金參圓九拾錢 送料十八錢

本書も文檢教育者必讀の用書として叙述せるものにして内容は所説平易公平よく委員や學者の説を攝取調和し以て受
験者に無二の伴侶たらしむべく努めた。教育科受験者は何を措いても本書につくがよい。本書の程度は師範學校教科
書よりは稍高く學者の専門書よりは平易である。斯く云ふも論究すべき題目は受験の立場から見るとして欠きしもの
はない。補や註には學者の説を収めた。要領!要領!これが受験に最も必要である。

◇文檢研究會編纂◇ (模範的實際的答案を示す)

文檢 修身科問題詳解 (三版) 四六判最上製美本 金貳圓五拾錢 送料十三錢

本書は最近十箇年の文檢問題を檢定委員學説を斟酌解説し且つ最新進歩の學説を加味して最も要領を得たる模範的實
際的参考を示せる外類似問題を蒐集し又一々参考書を掲げ受験者の自習試験に多大の便宜を與へるものである。

◇醫學士 井上金輔・奥山壽太郎・木山淳一・額田勇共著◇

生理衛生教授の理論及實際

(好評五版) 新文化の建設に當り國民の體育を振起し 菊判最上製美本 正價金四圓 送料金
全壹册四百頁 十八錢

して學校衛生學も近來勃興して改革の必要なるは示明の事なり、而して全壹册四百頁 正價金四圓 送料金
生の教授正鵠を得ず從つて兒童生徒は自らの衛生に盲者の如し著者これを遺憾として本書を公にす、本書を用ひば兒
童生徒は趣味津津の中に生理衛生の知識並に實行法を會得するは期して待つに似たり。今更躊躇するは愚、購ひて教
授に試む者賢と示ふべし。

◇桐生高等工業學校教授 島田慶一氏著 四六判最上製 全壹册三百頁 正價金貳圓 送料金
十二錢

家庭日常飲食物の知識

(好評五版) 本書は吾人が日常一日も缺くべからざる重要な食料品の全般に亘つて其由來・沿革・原料
製造法・營養價值・貯藏法・鑑定までも平易 簡明に何人にも了解し得る様講話せるものにし
て發行以來絶大の好評を博し版を重ねる事數回發行益々増
加す。一般家庭は勿論各學校の家事科理科の教育参考書と
しても好適のものなり。

發兌 東京市神田區 大田保町七 大同館書店

東京市神田區 大田保町七 大同館書店

◇渡部政盛氏新著（隨一の民衆哲學辭書提供）

版六 最新哲學辭典

菊判最上製美本
全壹册 背皮 附人
金五圓八拾錢
送料廿七錢

（本書の特長）（一）現代文化民衆の哲學感を充すを目的として編纂したる事（二）文章平易記述簡宜しきを得て一讀直ちに其要點を捕捉し得る事（三）内容 哲學概論・西洋哲學史・倫理學・東洋西洋倫理學史・論理學・美學・宗教・社會學・經濟哲學は勿論 生物學・心理學・哲學概論上の最近思潮特に 現代哲學の記述に萬遺憾なからん事を期す（四）所謂廣義の哲學以外現代の文學藝術社會問題經濟問題政治問題婦人問題等にも亘りたる事（五）學生及文檢受驗者の便を計り史上の問題を詳述したる事（六）文化生活への奉仕として正價を最低至廉ならしめ其の普及を圖つた事等である要するに本書は現代人に缺く可らざる哲學の鳥瞰圖ともいふべき書也

◇東京豊島師範學校教諭 栗原寅治郎著（好評激甚増版出來）

版壹拾 改造世界地理精說

菊判最上製美本
全壹册 七百頁
金五圓八拾錢
送料廿七錢

本書内容は材料選擇に當りて特に我國との關係的方面を重視し世界の大事に通ずると共に直ちに彼我刻下の形勢を理解をしめ今後の國民として國家的生活を營むに十分なる 料を自 人文の兩方面より精査して集むるに努めたり要するに世界地理參考書として現代では本書を以て第一なりと大なる自信を以て推奨する所以なり

發兌 東京市神田區 表神保町七番地 大同館書店

◇三村信男氏新著◇

（菊判最上製美本 全壹册 八百頁 正價六圓八十錢 送料廿七錢）

版三 地理學通論

（地文學の部）

僅の努力にて多大なる習得を目的として叙述せり 地理學は其の範圍頗る廣く之が研究に多大の不便と苦痛とを感ずるものである。而して其の地理學の寶典！各學校及文檢受驗者必讀の參考書 山の一として綜合されたる地理學の良書の無い事である。本書は各種學校に於ける地理教授者は勿論文檢受驗者の爲に僅の努力にて多大の習得を目的として最新の學說に基き著述せるもので内容は地理事項を細大漏さず之を詳説し百數十個の挿畫によりて内容を明かにし且終りに詳細なる索引を附し之を利用する時 本書は實に地理學の寶典となるものである。

◇東京豊島師範學校教授 栗原寅治郎著（菊判最上製美本 全壹册 五百餘頁 正價金四圓 送料金十八錢）

版五 日本産業地理精說

各學校及 實業界の 必讀書！！

大戰後の世界各國は舉つて經濟上の恢復に努め國民經濟の根本を究めて之が永遠の大計を樹てつゝあり我國の經濟界は果して激烈なる國際的の平和戰に服すべき豊富なる準備と最善の努力とを覺悟しつゝありや本書は我國の主要産業に就て古來發達の過程を明かにし内地及新領土に於ける最新の材料に基きて記述せず一般實業家の參考に供すると共に各種學校の參考資料とす、確實なる一讀帝財源の良書たるを確信す

發兌 東京市神田區 表神保町七 大同館書店

書良き可ふ備を本一非是に校學小

▲教授用と檢定受験用とを兼備せる隨一の國史參考書▼

國學院大學 講 師文學士岡部精一氏 高橋與惣氏共著

拾壹版 文部省檢定 大日本歴史 試験問題對照

●菊判シロース製最上美本 紙數九百五十頁 全壹冊 金七圓五拾錢 郵稅十六錢

本書は各種學校の國史科教授の參考に供し兼て各種の受験準備に資せんが爲めに編纂せるものにして教授參考に供する的方法としては現行文部省の中等學校及小學校の教授細目を基礎とし之を適宜配合して編纂を分ち國史の本幹を形成せる事實を精細に通説し又古今史學家の發表せし新説の穩健なるものは努めて之れを採録せり。試験準備に資する的方法としては第一回より第廿六回に至る文檢試験問題を發題者の要求を推究探して一々精密に解釋し盡く各章末に添附せり。加ふるに編者多年の經驗と研究とを以て些の遺漏なきを期したれば諸學校に取りては簡便適宜あらゆる重要史實を網羅して餘蘊なき最も完備せる國史參考書たるべく檢定受験者殊に小學校教員諸氏に取りては教授用と受験準備用とを兼備せる斯學隨一の羅針盤たるべし。

發行所

東京市神田區表神保町六番地 振替貯金口座東京八七貳番

大同館書店

東京高等師範 學校教授文學士 中村久四郎先生 高橋與惣先生新著

拾壹版 文部省檢定 東洋通史 受験用

菊判最上製美本全一冊紙數九百餘頁正價金五圓八拾錢郵稅二十錢

本書の組織は現今中等學校の教授細目を適宜配合して四編六拾五章に分ち著者多年の實地的經驗を基礎とせる獨創の排案に據り上下五千餘年に亘れる諸民族の盛衰興亡より政治・風俗・學術・文藝・宗教・制度の一切を網羅し東洋史實を盡く有機的連絡の下に最も平易正確懇切に通説せり。そして從來の東洋史の最大缺點たる記述の無味乾燥及び繁雜に過ぎずば簡易に失せる缺點・地名人名の難讀・官職の難解等を補ひし外古今東西史學者の披瀝せる學說の穩健なるものは努めて之を採録し一々出典を明示して研究者の便に資せり。又文部省檢定試験問題の第壹回より最近に至る迄の分を盡く明瞭に解答し之を本文の間に分載し以て受験者に一大秘庫を提供せり。要するに本書は文檢受験用の名を冠すと雖も一切の史實を通説せるは勿論古來日支兩國の關係殊に最近世東洋外交上の事件人物を詳説したれば實に中等教員小學教授參考及文檢受験者の一大秘庫たるのみならず史學研究者世の識者も亦座右に備へて大に裨益なかるべからず。

東京 大同館發行 神田

文部省通俗教育圖書認定濟

東京大同館發行

西川祐著

文化基調 化學工業講話

四全 貳送
六一正
冊價八
最五價
上五價
美百金
本頁拾
錢八

(内容目次の一斑) 化學工業の領分とその沿革 化學工業の範圍……化學工業の原理は何か……
 發達の跡……展開しつつある化學工業 空中の寶、窒素の利用 生か死か……智利硝石……人智は無限……
 ……空中の寶庫……世界の大部分と我國……固定方法 硝子工業 漂流の恵……七寶の一と數へられた……日代
 の現況……硝石の生體……硝子になるまで……生活と硝子 臺所の石炭瓦斯 石炭瓦斯の來歴……家庭に於
 ける瓦斯……文化生活と瓦斯……動力に使はれる瓦斯 護謨の一代 今日の護謨工業……護謨の加工仕上……
 皮より革へ 革の種類……製革工業の過去と現代 砂糖 砂糖か薬……文化生活と砂糖 石鹼物語
 石鹼の生立ち……日常使用の石鹼……石鹼の良否 最近の色素工業 天然染料の驅逐……コールドールから
 色素……複雑な人造藍の製法……色素の人類奉仕 衣服の染色 染まる理由……染料の妙味 セルロイド
 人形 セルロイドの長所と短所……原料の賦立……製造の梗概……セルロイドの世界 人造絹糸 人造絹糸
 の發明……人造絹紙の應用と現在 製紙工業……日本酒……麥酒の醸造……食鹽の話 山の
 食鹽と海の食鹽……食鹽は工業の基礎 燐寸 燐寸發明の序幕……我國の燐寸工業 セメントとコンクリ
 ート セメント工業の現狀 鐵筋コンクリート 陶磁器……電鍍工業 電鍍の意味……電鍍の役 香
 料と生活 香の世界……香料の進化……香料採製の諸法……主なる芳香油 石油 燃ゆる水……世界の石油
 ……石油時代來る……油田の争奪に熱中する列強……石油の起原と油田發見方法

●新定國史教授用參考書として最も完備せる書●

京都府女子師範學校教諭 德重淺吉 同訓導 吉良佐太郎 共著 東京神田大同館發行
 京都府女子師範學校訓導 松本正男 同訓導 内藤孫一 共著 大同館發行

史眼養成 國史教授の原理及實際

菊判最上製美本五學年用(上卷)正價 參圓五拾錢送料十二錢
 全貳冊千二百頁六學年用(下卷)正價金四圓五拾錢送料十八錢

近世日本の教科的新解釋
 國民思想養成の鐵案
 世の移り行く道理の究明
 史眼養成の眞教授法

現代國史教授界に於ける重要な諸問題には觸れざるなく上巻と相俟つて其の完璧を則せり、敢へて世の眞理を熱愛する教育家に一木を勸む。

拾 版

◇醫學博士 羽太銳治氏新著 (類書中の白眉)

拾參版

性慾教育の研究

四六判最上製本
全壹册五百頁
正金參圓
送料十二錢

著者先に獨逸國に留學して生殖器學性慾學を専攻して研究甚だ力む。其の帶歐中伯林にてウエデキンドの「春の目醒」の實演を見て青少年少女が性慾上の悲劇に深く印象を得たりしが歸朝後我國が此の大問題なる性慾教育の點に於て一冊の見るべき書なく且つ其半面には彼等を刻一刻に危險と暗潮に導きつゝある現狀を見て憂慮措く能はずや造んで其の修養を吐露して大の宜を與ふ。性慾教育の意義より其必要なる理由方法等の名著を譯し此に聯せる知識を得べくして青年諸君は勿論教育各職者には置きても是非一度本書を必讀すべき事實を作らばしつゝ有るかを知らざる。第一章少年の性教育の意義第二章性慾教育の範圍其方法第三章性慾教育の歴史第四章性慾教育の生理的生殖器の構造第五章性慾教育の心理的現象第六章性慾教育の社會的現象第七章性慾教育の教育的現象第八章性慾教育の醫學的現象第九章性慾教育の法律的現象第十章性慾教育の倫理的現象第十一章性慾教育の宗教的現象第十二章性慾教育の總論

三版

生殖器崇拜の教話

袖珍最上製本
全壹册美本
金六拾錢
送料四錢

(上田恭輔著) 本書は流行の風潮に乗せんとする際物出版ではない生殖器崇拜に就て古今の面白き事實傳説を宗教的意義を説ける頗る趣味多き書である

發兌 東京市神田區 表神保町七 大同館書店

◇奈良第四小學校訓導中谷芳藏著◇(三色版拾貳葉挿入)

最新刊

美的。パステル畫の實驗

四六判最上製本
全壹册美本
錢拾八圓壹
送料八十錢

(圖畫教育の一新生面を開拓する書) 全盛を極めたクレイヨンの時代、最早行は我國圖畫教育の使命を負ふて最も價値ある一生を開拓することは既に世の識者及實際家の疑を容れずして所である。本書内容は先づ巻頭にパステル畫の兒童作品十二葉を最も鮮麗な三色版として挿入して範を示し、パステル畫實驗の實際と一般圖畫實驗の理論及實際を著者の深き經驗的根柢から最新教育思潮を通して最も平易に論述せるも小學校及中等學校圖畫教育の實際にたづさはる教育者諸氏は勿論美的藝術生活者流の是非一讀を要する要書たることを信じてやまないものである。

◇稻毛詛風氏新著◇(熱血の氣紙面に横溢せる著述)

拾壹版

若き教育者の自覺と告白

四六判最上製美本
全壹册三百餘頁
金壹圓八拾錢
送料十二錢

著者一度教育界を去るや之れが誤反者と自稱す。而も斯界と小學教師の運命を思ふ一念切々の熱誠は遂に勃發して本書をなす。本書は正しく教育界に對する覺醒の警笛也。奮勵と慰安とを與ふる福音也。滿天下の有爲なる教育者に共鳴する如き熱烈の言辭と花の如き多趣なる筆致とは人情の機微と學理の精到とを經緯して百花燎亂の觀を呈す。小冊なれ共全卷一の空言なく瀾麗の筆致となし、最大膽赤裸々に告白せらるる意義ある生活に生きんとする者は速く本書を讀め。自己に自覺せんとする者は本書を讀め。教育者の眞價を知り權威を高めんとする者は速く本書を讀め。

著者の尤も自信ある創新作文集

早稻田大學講師 吉田絃二郎氏新著

生命の微光

四六判最上製美本
全巻册總數五百頁
正價 金貳圓
郵稅金八錢

第三卅貳版

「力は孤獨から生れる！」この人生の見方は非常に淋しい。けれど捨てられぬほど懐しい生活の力を私に與へた。兄弟を捨てて友を命の廣野に孤獨の影を見出した時私だちの哲人生活の第一歩が始まるのである。光りなき絶望の底から光りが生れ愛なき嫌入者の臆病な心の底から温かい人間愛が生れるのである。か。私は此心弱い生活者の收穫の中から創作五篇と卅餘篇の感想を纏めることにした。暗の底に低徊せる孤獨者のいのちの微光を求むるかすかな祈りの聲として(著者)

(内容目次)
 孤獨者の心……罪人の涙……啄木鳥……旅から旅へ……
 淡紅のチウルフ……孤島の春に……やなぎの芽生……
 夜の汽車……馬開海峡で……或る朝……大學正門前……
 寒い日であつた……この秋……八丈島に行つた女……
 武蔵野の秋……母の髪……秋雨の日……三十の彼……暗
 と悲哀とから……ロシヤへ行かんとする青年に……曇り
 日……大地は呻けり……

秋 蜩 人の死 母の死 小憎 梅人の死 謀叛

東京市神田 大同館發行 表神保町七

◇小林榮子女史校訂

(四六判最上製 美本八百頁) 正價金參圓八拾錢 (送料金十八錢)

六版

近松世話淨瑠璃集成

本書は近松の靈筆に成れる世話淨瑠璃の院本廿四編を輯めて現代にも容易く其妙趣を味はしむべく難解の俗語・古典の成語には特に妥當なる漢字を充てたる校訂者の苦心によりて千古才人の絢爛たる筆致は更に幾段の光彩を發揮して讀者の眼前に展開せらるべし。近松の作を多く讀たる人も初めて近松の作に接せんとする人も讀め。

發兌 東京 大同館 神田

◇小林榮子女史校訂

(四六判最上製 美本千餘頁) 正價金五圓八拾錢 (送料金十八錢)

再版

近松時代淨瑠璃集成

近松逝いて既に二百餘年世に其の天才を讃嘆する者益々多きを加ふるは偶然にあらず就中其の時代淨瑠璃は趣向の雄大な描寫の鮮麗なる文章の雅健なる後世作者の到底企て及ばざる所なり。今其中に於て殊に傑作中の傑作と稱すべきものを精選し川語には一々適當なる漢字をあて故事には一々正確なる考證を加へて本書を成せり眞に近松を知らんとする人は讀め。

◇佐賀高等學校教授 文學士 高木 武著◇ (好評激甚)

四版 受験 新選漢文要義

本書は各種高等學校入學志望者小學校教員諸氏及一般學生諸君が自習の参考用書として漢文の眞髓を成可く迅速正確に會得せしむ可第一編文法要義には名詞、代名詞、動詞、形容詞、助動詞、副詞、接續詞、感動詞、調點の附け方等を解き第二編には誤り易き似字を第三編には誤り易き同訓異字の辨第四編には誤り易き字音假名遣の辨第五編には誤り易き熟語を解き尙故事成語要義を添へ一々比較對照し記憶判別に便利なる様特に意を注ぎて記述したり『萬朝報』本書を評して曰く親切に解きあれば學徒の利便尠からざる可しと必ずや各位が机上の便覽たるべし。

◇文檢研究会編纂◇ (類書中の白眉)

文部省檢定 各科受験者の手引

本書の特色は 試験委員の從來發表されたる談話は盡く蒐集して受験者の注意しなければならぬ大綱を説いた。そして各科合格者の經驗談を多數集めて必讀参考書。時間の利用法研究上受験上の諸注意等荷も受験者の心得なければならぬ事項を細大となく説示した等受験者は何事を描いても先づ本書を熟讀し玩味しなければならぬ。

受驗者の一福音

四美判最上製 六本 最上製 五本 製頁百

送料八十錢

錢拾八圓壹

東京 市 神田 行發館同大

◇小林榮子新著◇

東京神山六同館藏版

新刊 源氏物語活釋

文檢受験者 必讀の名著

前編金四圓八拾錢 送料十八錢
後編金四圓八拾錢 送料十八錢

源氏物語の理想 註釋的釋書

著者が源氏物語を禮讚の心は凝つて同好の人が一人も多く欲しくなりました。幾度も講義體にしたり現代語に譯したのを惜氣なく皆捨て、例の漢字をあて、本文を釋する獨特の方法に出る事とし頭註には煩多な古註の中から首肯し得るもののみを採りて漢律佛典故實に照し考へ謬見と思ふ所もしくは古人の言及せぬ不明の箇所を解決し禪家の謂ゆる活釋の意に背かぬものと自信して爰に世界に、るべき日本文學の精髓源氏物語を一般人士に推奨いたします。本書は初めて古文に面接する人にも、ちに堂奥の源氏物語を了解する事が出来ます。

(前編) 目次：桐壺：簪木：空蟬：夕顔：若紫：末摘：紅葉賀：花宴：葵：賢木：花散里：須磨：明：濡標：蓬生：關屋：繪合：松風：薄雲：朝顔：少女：玉鬘：初：蝶：螢：常夏：緯：野分：行幸：藤袴：眞木柱：ケケ枝：藤末葉：若菜上：若菜下

(以上)

(後編) 目次：柏木：横笛：鈴蟲：夕霧：御法：幻：雲かくれ：匂宮：紅梅：竹川：橋姫：椎木：總角：早蕨：寄生：東屋：浮舟：蜻蛉：手習：夢の浮橋：紫部：記抄：(以上)

石川 誠氏新著

東京神田 大同館發行

五版

萬葉集古今集選釋

四六判最上製本
全壹册五百餘頁
正價金參圓
送料十八錢

(和歌入門者の必讀書)

本書は古來歌人の金科玉條として吟式し來つた萬葉集・古今集・新古今集三部
檢受驗者諸君・各種學校受驗者・學生諸君及び和歌初學者の便を計り懇切丁寧に註解を施したものである。猶三歌集の
詳密なる和歌史概要及三歌集參考書の解説を添へたものである。されば本書一巻で和歌史中の太古から現代に至
る各時代の作例數百首を通觀し得る正に歴代和歌集を兼ねたものと云ふべき書なり。

文學士 小林好日氏新著 (文檢受驗者必讀の要書)

三版

新體國語法精說

菊判最上製本
全壹册四百頁
貳圓八拾錢
送料十八錢

本書は最も進歩したる科學的方法の下に試みられたわが現代語の研究書であり文語から口語に至る歴史的變遷を顧み
られた比較對照法である音韻論品詞論から文章法論に至るまで懇切周到なる説明を施したもので國語の記述的・文典
的・理論的・文典である。本書は又半面から見れば標準語の研究書であり標準語問題の研鑽に研究である。身に心理
的・原理から研析する説明を試みよらんとするが如きは煩瑣にして無味乾燥なる普通の語法書と其の撰を異にして
る初等中等を問はず國語教授に携はるもの必ず座右に備ふべき參考書なり。

小林一郎氏新著

(著者が敬仰の熱情遂に本書を成す)

四版

芭蕉翁の一生

四六判最上製美本
全壹册約六百頁
貳圓八拾錢
送料十八錢

其の生前に於ても死後に於ても芭蕉翁の如くに多くの崇拜者をもつて居る人は今古の詩人文士中に曾て例の無いこと
である此の如き人の一生は、人も之を研究して見て人なる教訓をべきである著者は俳諧の専門家では無いが翁の作
を愛誦すること既に三十年翁を識る上に於ては一種の自信をもつて居る隨て著者は此書を現代の各階級の人に薦めて
其の批判を得ることを熱望して居るのである。

小林一郎氏新著

(芭蕉愛好者必讀書)

新刊

芭蕉句集評釋

四六判最上美本
全壹册四百頁
貳圓八拾錢
送料十八錢

(趣味と修養)

古今の詩人文士の中で芭蕉翁ほど多くの崇拜者をもつて居る人はあるまい。翁は俳人として優
力を與へる。翁の句集は何人も共に讀むべきものである。著者は全く素人であるから此の評釋は其道の人から見
々の文句もあらう併し素人にして初めて捉へ得る所も多くあらうと思ふ
既に翁を知つた人にも未だ知らぬ人にも是非必讀を希望する。

發兌 東京市神田 大同館書店

◇小學校・中學校・女學校用趣味の課外讀本出來!!

◇森山右一氏新著 四六判 正價 貳圓 送料十八錢

最新刊

和歌俳句自習讀本

本書は「和歌が作つてみたい」「俳句はどうしたら作れるだらうか」といふ小學生の爲めと「和歌俳句を研究したい」と望む中學生女學生の親切な入門書として生れたものである。特色とする所は綴方の藝術化、和歌俳句の導入に資すべく圖れると「作り方」の篇に例歌例句を多く挿入せると「註釋」の篇に新しき歌句數百首を選載せる事である。行文平淡にして水の如く歌句優雅にして花の如く讀去り讀來れば初歩者には無二の指導たるべくすでに入れる者には必ずや詩心のとみにゆたけく伸び行くを覺るに至るであらう。敢て一本を大方の前にすすむ。

目次内容

〔上編和歌の部〕……子供の和歌……自分の實感……動の歌と靜の歌……景の歌と心の歌
グロツトとローカルカラー……倒置法と反覆法……「なるほど」歌と「さうですか」歌……和歌の日記……和歌と旅行……和歌のうつりかわり……少年歌ことば……和歌評釋……古歌百首
〔下編俳句の部〕……子供の俳句……季節と切字……少年歳事記……客觀句・主觀句……ポイントと餘情……配合法と擬人法……「しまった」句と「ゆるんだ句」……日記と俳句……旅行と俳句……俳句うつりかはり……子供俳句かるた……俳句評解……古句百吟……

◇東京府立女子師範學校訓導 守屋貫秀・奈良島知堂著 四六判最上裝 正價金壹圓八拾錢 送料金十八錢

忽三版

少年會我物語

日本古來の仇討で第一に數へられる會我兄弟の物語を少年の讀物として書かれたものである。仇討の中には封建時代の遺物として面白くないものもあるが會我兄弟の如きは孝子の切なる情と幾多の苦心經緯や堅い志操が感激させる。中學校女學校の初年級及小學生の讀物として適當な良本である。

〔新刊月報評〕

目次内容

金石の悲しみ……祐經の無念……祐親狼はる……狩場の酒宴……河津俣野の山撲……赤澤山の露……兄弟も曾我へ……大見八幡の首……哀れな千鶴……頼朝の擧兵……鎌倉の霸業……雲居の雁……怨めしの使者……山比ヶ濱邊……重忠の申請ひ……母の狂喜……敵に對面……箱玉の元服……母の勘氣……臆病な小治郎……淺間の狩……怪しの者討取れ……哀れな鹿の聲……與一の立腹……和田の酒宴に草摺引……小袖乞……勘氣赦免……惜しき別れ……懐しい故郷の森……矢立の杉……箱根の暇乞……狩場の勇ましき……無念の射掛……敵を前に亂拍子……和田義盛と梶原景季……主従の訣別……嚴しき咎立……嬉しや本望成就……十番斬の勇しき……祐成の討死……女姿の五郎丸……御前の尋問……時致の最後……大團圓……

東京市神田區 大田同發行 振替貯金口座 表神保町七區 東京八七八番 座

東京市神田區 大田同發行 振替貯金口座 表神保町七區 東京八七八番 座

ト 50.78

◇高知師範學校教授 甲斐一二氏著 (大好評)

新刊
發賣

修身
教育
主要
國語
說辭
辭典

四六判最上製本
全壹冊五百頁
正價金
參圓六拾錢
送料十八錢

小學校教員
文檢受験者
師範學生用
必備の辭書

本書は修身・教育兩科の研究に志す人が研鑽の傍所要題目の要點を敏速に把握せらるゝの便に供せんが爲めに編纂したるものなり。故に本書記載の題目は修身及教育の各分科(教育史・心理學・論理學・教授法・管理法)等は勿論其特に關係深く重要と認めらるゝものは哲學・社會學・文藝の各方面にも及びたり。本書は浩瀚なる大辭書と其趣きを異にし凡ての題一を網羅し盡すといふ主義にはあらで兩科の研究上最も必要と認めらるゝ題目のみに止め特に最近の思潮に鑑み努めて新題を逸せざらんことに努力したり。索引法としては普通辭典の形式に従ひ五十音順に排列したりと雖も檢索の便宜上字音假名遣法を用ひたり。

石川 誠著 ● 新撰 徒然草講義 (四六判) 最上製

金貳圓五十錢
送料十八錢

尾上登良子著 ● 頭註 源氏物語大意 (四六判) 最上製

正價金參圓
送料十八錢

大 同 館 發 行

東京市神田區
表神保町七

振替貯金口座
東京七八七番

終